

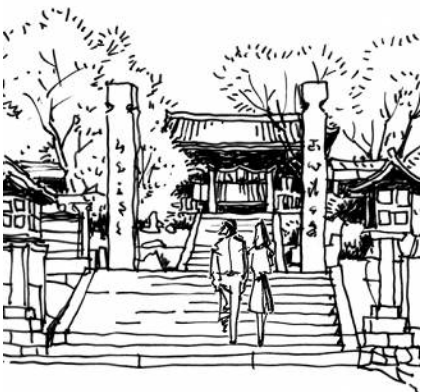
廣峯ものがたり（九月）  
新羅山と神功皇后

## 「神々の山」

世界文化遺産「姫路城」の北にそびえる広峰山。久し振りにその山頂に参拝した。緑豊かなこの山は、かつて新羅山と呼ばれ、紀元前の太古から、この地に住む人々が神籬を建てて神様を祀り、日々の祈りを捧げる神聖な山でした。

その後、神功皇后が三韓征伐に進軍する際、山上にて戦勝祈願を行ったところ見事に勝利し、帰国する際には、お礼参りを行ったとも伝えられています。

悠久の時を経た現代、石段を上がって随神門をくぐりぬけると、江戸時代に再建された拝殿と、室町時代に再建された、正面が十一間（約三〇坪）もある壮大な本殿が姿を現します。



この荘厳な本殿の建築には、室町幕府八代將軍の足利義政も寄付をしたそうです。

本殿は、内陣と外陣に別れ、内陣はさらに正殿、左殿、右殿の神殿を並べる大変珍しい造りになっており、主祭神である素戔嗚尊と五十猛尊をはじめ、二十三柱の神々が鎮座しています。

そのご神前にて拝礼すると、心が清められ、自分自身を見つめなおす良い機会になりました。

この秋、太古より神々の坐す広峰山に参拝して、ありがたい御神徳を感じ、心身ともにリフレッシュしてみませんか？